

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別演習 I (Environmental Information Engineering Seminar I) 【平居研究室】		授業コード	M001101
担当教員名	平居 孝之		科目ナンバリングコード	R30401
配当学年	1	開講期	通年	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	指導教員と一緒に学ぶ学修を基本にして、テーマを決めて主体的に学習します。			
受講心得	担当教員と日ごろの連絡をよく取るようにしてください。			
教科書	購入するものではありません。			
参考文献及び指定図書	平居孝之のホームページに掲載している研究内容を参考資料にします。			
関連科目	環境情報学特別演習 II、環境情報学特別研究			

授業の目的	複合材料の仕組みを学び、複合材料の技術を建築分野に適用することを演習する。
授業の概要	建築物を複合材料の観点から分析し、これまで解明されていない問題を取り上げ、数値計算を使って解析し考察することを試みる。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：学習方法の相談。	予習はありません
第2週：テーマに関連する文献収集	予習はありません 文献検索の復習
第3週：文献調査	興味のある内容の文献を選び読む
第4週：テーマの選出	文献をまとめ、概要発表の準備をする
第5週：数値計算方法の概要 選んだ計算課題を説明するプレゼンテーションをします。	文献調査で選んだ計算方法の発表資料作成
第6週：数値計算方法の使い方	課題の数値計算の方法を調べる
第7週：テーマのモデル化	課題のモデル化の準備
第8週：モデルの数値化	準備したモデルの数値化の検討
第9週：モデル入力データの作成	入力データを完成させる
第10週：モデル入力データの図形表示	図形表示と実物との整合性の検討
第11週：数値計算の実行	数値計算結果の意味を考察
第12週：計算結果の確認とその意味の理解	数値計算結果の

		意味を考察
第13週：計算結果の図形表示		計算結果の表示の 検討
第14週：数値計算の結果をまとめて、報告書を作成します。		報告書作成
第15週：報告書のブリーフィングを行います。		総括の復習
第16週：		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	複合材料に関心を持ち、数値計算を知りたいという意欲を持ってください。
【知識・理解】	数値計算方法を理解することが大切です。
【技能・表現・コミュニケーション】	学んだことをまとめて報告書を作成し、プレゼンテーションできるようになってください。
【思考・判断・創造】	学習したことについて、考察することが大切です。さらに自分の判断と創造を加えることが望ましい。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。			10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点	10点	

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	作成しようとする意欲を評価します。難しくても、自分の力で作成してください。

発表・その他
(無形成果)

プレゼンテーションの訓練は大切です。内容の良否で評価しません。どれだけ熱心であったかで評価します。